

高校生活応援基金「たより」

2010.5.27

「高校生活応援基金」に1698件の応募！

困窮している県立高校生の修学旅行費用を軽減することを目的に、県立高校関係者らで設置された「高校生活応援基金」の今年度分の応募が5月8日締め切られました。

4月1日から受付を開始したこの基金に、最終的には1698名の申込があり、事務局の想定を大きく上回ったものとなりました。ある程度予想したとはいえ、想定以上の反応に、あらためて子どもたちがおかれている厳しい経済環境を痛感しているところです。現在、資格要検討についての審査を進めており、早ければ6月中旬から給付が開始されることとなります。なお、現段階で資料が不足している応募者に対しては、事務局から個別に確認が行われています。

退職者会総会でお礼

本事業の中心である神高教園部委員長が5月27日開催された県立学校退職者の会総会で、「基金」への協力についてお礼の挨拶を行いました。以下その内容です。

今回、退職者会の役員の方のご協力をいただきまして、本総会の案内状に『「高校生活応援基金」へのご協力をお願い』を入れさせていただいたところ、今日現在で70万円を超える貴重なご浄財を退職者の皆様から頂戴することができました。

経済格差、貧困が子どもたちの教育環境に大きな陰を落としていることは、様々な場面で指摘されています。このような状況の中で、私たち神高教が県立高校の関係者に呼びかけさせていただいて、経済的に困難をかかえる生徒たちに少しでも役に立てればと、この高校生活応援基金を立ち上げました。

5月8日に今年度のお金を締め切ったところ1700人もの応募があり、あらためて生徒たちのおかれている厳しい状況について認識したところです。6月中旬には給付を始める予定ですが、給付を受けた生徒ばかりでなく、この事業を実施している私たち現職の者にとっても、退職者の皆様のご協力は力強い励ましとなることは間違えありません。皆様のご支援にあらためて感謝申し上げます。

退職者の方からも11万円のカンパ

今回の基金について「県立学校退職者の会」の皆様にご協力をお願いしたところ、多くの皆さんから、貴重なご寄付が事務局宛に続々と振り込まれてきています。

「退職者の会」は県立高校の退職者全員が加入する親睦組織で、春に行われる総会と忘年懇親会が主な行事です。今回、総会の案内に協力のご案内を同封させていただいたところ、多くの方から続々とご寄付が寄せられています。

また、振込方法などについての問い合わせも、事務局に数多く寄せられており、「神奈川県立高校に関わる全ての人々の善意で、経済的に困難をかかえる生徒を支援する」という今回の基金の意義を大いに深めるものとなっています。

退職者会総会でお礼

本事業の中心である神高教園部委員長が5月27日開催された県立学校退職者の会総会で、「基金」への協力についてお礼の挨拶を行いました。

今回、退職者会の役員の皆さんのご協力をいただきまして、本総会の案内状に「『高校生活応援基金』へのご協力をお願い」を入れさせていただいたところ、今日現在で70万円を超える貴重なご浄財を退職者の皆様から頂戴することができました。経済格差、貧困が子どもたちの教育環境に大きな陰を落としていることは、様々な場面で指摘されています。このような状況の中で、私たち神高教が県立高校の関係者に呼びかけさせていただいて、経済的に困難をかかえる生徒たちに少しでも役に立てればと、この高校生活応援基金を立ち上げました。5月8日に今年度の応募を締め切ったところ1700人もの応募があり、あらためて生徒たちのおかれている厳しい状況について認識したところです。6月中旬には給付を始める予定ですが、給付を受けた生徒ばかりでなく、この事業を実施している私たち現職の者にとっても、退職者の皆さんのご協力は力強い励ましとなることは間違えありません。皆様のご支援にあらためて感謝申し上げます。